

政治家になろう (1)

豊島区 塩浜 修

1. 愛する人をガンから守れ

父がガンでしんだ。

母は以来急に食生活を考え直し、少しでもガンにならないように気をつけ始めた。そして知った。安全な食べ物がほとんどないことを。

少し数字を出そう。日本では 3.7人に1人がガンで死ぬ。もはや死亡原因の1位がガンなのだ。3.7人に1人である。あなたの愛する人、あるいは子供が、友人が、1人くらいガンで死ぬことだろう。あるいは、産まれてくる子がアトピーになったり、流産で日の目を見ないままだったりするであろう。

ベトナム戦争で、アメリカがベトナムにダイオキシンという猛毒を撒き散らし、その結果ベトナムで奇形児が多く生まれたことを知っているであろう。

その猛毒ダイオキシンは、塩素系化合物を燃やすと発生する。

大量生産・大量廃棄を繰り返し、ごみを燃やしまくっている日本。ついに凄惨なことになった。母乳の中に含まれるダイオキシンの量が、日本はベトナムを抜き世界一位になったのだ。

その割には、奇形児はうまれていないじゃないか……と思うかもしれない。しかし、流産の率はどんどん上がっている。よく考えてほしい。本当に流産なのか？ 奇形が生まれた時、医者が「処理」し、「残念ですが、流産でした。」と言っているかもしれないし、そういう証言がたまにある。それに、流産とは、奇形の極限状態で、「奇形ながらも生きて出てきた」という状態よりひどいとも考えられるではないか。

鳩山由紀夫が「政治は愛だ」といっている。先に言われてしまって私としては、悔しい。彼がどういう意味で言っているのかわからないが、私も「政治は愛」、言い換えれば、「愛する人を殺されないために政治力が必要だ」と思っている。

愛する人がアトピーで苦しんでいるのを見るたびに、愛する在日朝鮮人の女性が部屋を探すことに苦労することを聞いたたびに、愛する人が性犯罪にあっても今の司法制度の下では泣き寝入りしてしまおうという現状を思うたびに、母が安全な食べ物をを探すのに苦労するのを見るたびに、私は誓う。日本の政治を変えてやる一と。

2. 根本から変えるには政治

ごみを減らせばダイオキシンは減る。ごみを少しでも減らすため、リサイクル運動をしている立派な人々がたくさんいる。

川を汚さないように、合成洗剤を使わず、廃油から作った石鹼を用いて頑張る立派な人々がいる。

安全な食べ物を作るため、大変な手間暇かけることによって低農薬による農法に挑戦している立派な人々がいる。(私の塾からもそういう人が出たことを私は誇りに思う)。

以上のような地道な活動をして、少しでも人々のために貢献しようとしている人を私は、すばらしいと思う。こういう人々に対し「自己満足だ」などと言って斜に構えている奴が大嫌いである。

ただ、私は上のような地道な活動をしている人々についても気になることがある。全員ではないが、それらの人々がよく「私達は政治とは関係ありません。生活者の視点から、身近な問題に自分達の手で取り組んでいるだけなのです」というように、やたら政治と関係ないことを強調したがるのである。

現在の政界が、相当汚れていることは確かである。ならばあなたがきれいにすれば良い。あなたがイメージを良くすれば良いのではないか。

リサイクルのボランティアをしている皆さんが、その2~3割の力を政治活動にあててくれば、もっと効率良くリサイクルができる。政治によってシステムを変えてしまえば、ごみを抜本的に減らすことができる。

「知識の詰め込み」ではなく、「人を育てる」教育をしようとして学校の先生になったが、挫折してしまったという人を私は多く知っている。政治の力で、教育行政・教育カリキュラムを根本的に変えねばならない。「人を育て」ようとしていたら、現在カリキュラムをこなしきれない。

入院すると、薬づけ・検査づけにされる。かえって身体に悪い。しかし、今の医療行政の下では、本当に必要な処置だけをしていたら病院が倒産してしまう。医者が悪いのではない。政治の方を変えるべきなのだ。

低農薬の農法で頑張ろうとする人も多くが挫折する。ただでさえ手間がかかるのに、農協と組んで化学肥料と高農薬でやっている奴等には補助金がつき、市場での価格競争で圧倒的に不利なのである。

合成洗剤を追放しようとして地道に啓蒙活動をし、ようやくみんながわかってきてくれたのも東の間である。洗剤メーカーは、「植物油を中心とした新製法。やし油なので地球に優しい」などと言って洗剤を売り出す。実は、東南アジアの森林を切りまくって、やしを植えているので、とんでもない環境破壊なのだ。

悔しくないか。地道なかつどうで1歩2歩進んでいると、反対側から100歩ぐらい後ろに押し戻す奴らがいるのだ。抜本的に改めるには政治が必要なのだ。